

# 第3子以降増額

# 0歳〜高校生に

## 児童手当 政府、対象拡大調整

「異次元の少子化対策」の児童手当について、政府内で第3子以降の増額対象を「0歳〜高校生」に広げる案が浮上していることが

わかった。当初は「3歳〜小学生」の拡充を検討したが、さらに対象を広げる必要があるとし、調整している。金額は3万円とする案

が有力。与党と調整し、6月の「骨太の方針」への反映を目指す。

児童手当は現在、0〜3歳未満は月1万5千円。それ以降は中学生まで月1万円が支給されている。第3子以降に関しては「3歳〜小学生」は加算されている。月1万5千円となっている。

政府は多子世帯の経済的負担感が大きいとして、第3子以降の金額を増やす方

針を固めている。当初は増額する対象を「3歳〜小学生」で検討していたが、政権内で「年齢に関わらず、手厚くするべきだ」との意見が強まっている。

児童手当はこのほか、所得制限を撤廃し、支給期間を中学生から高校生まで延ばして月1万円を支給する方向で、早ければ来年度中にも実施したい考えだ。

(高橋健次郎)